

生徒・保護者向け 図書館だより

Breeze

～図書館からの風～

令和7年5月2日

Vol. 2

文責 大田二中図書館司書

新緑のまぶしい季節となりました。新年度が始まって一か月、新しいクラス・生活のリズムにも慣れてきたのではないのでしょうか。部活も新しいメンバーを迎えて、ますます忙しくなります。穏やかに過ごせる気分転換の場所として図書館を利用しましょう。

二中恒例・読書の木



二中には読書の木が二ヶ所あります。入り口の壁に沿った場所に小さな木、図書館前の階段踊り場に大きな木があります。枝の先にあるのは三年生が書いたおすすめ本のPOPです。個性豊かで本への思いが伝わる力作揃いです！今、図書館にある本は図書館入口テーブルに並べられています。三年生の本に対する温かい気持ちが伝わり「あの先輩がおすすめしてくれた本」「見た瞬間に読みたくなる本」など興味をひかれる紹介ばかりです。人気の本が多く紹介されていますので貸出中の本が多いですが、読みたい人は、カウンターで予約しましょう。展示は五月末までです。



図書委員会・マナーアップキャンペーン



みんながマナーを意識することで
『誰もが過ごしやすい図書館』を
目指しています。
自分のふるまいはどうですか？
みんなでマナーアップ！

5月は図書館振興の月

図書館と本屋に関する本を紹介します

麦本三步の好きなもの

住野よる 著 幻冬舎

司書



無意味な日々も、意味ある瞬間もどっちも大切に、それが一番いいということなんだとのんきに思う。

大学の図書館で司書として働く三步。三步のごく普通の日常がエッセイ風に描かれている。ぼーっとして、仕事も失敗が多く叱られることも多い、風変わりな人と見られている三步だが、周りの人に見守られつつ、好きなものに囲まれて、淡々と過ごしていく。

桜風堂ものがたり

村山早紀 著 PHP 研究所

書店員



「わたしは先生の言葉を、もっとたくさん読みたいと思います。その言葉を、遠くまで、そして未来まで、たくさんの読み手に手渡したいです。」

職場の書店で起こった万引き事件をきっかけに退職した一整。ネットで交流していた山間の小さな書店、桜風堂書店の店主を訪ねる旅に出る。そこで一整は思いがけない申し出を受ける。また退職前に見つけた宝物のような一冊によって、温かい奇跡が広がる。

本を守ろうとする猫の話

夏川草介 著 小学館

古書店



あなたが忘れそうになっているなら、僕が声を大にして言います。人を思う心、それが本の力なんだと。

古書店を営む祖父と二人暮らしの林太郎。しかし突然祖父が亡くなってしまう。失意の中にある林太郎の前に現れたのは言葉を話す猫。猫は林太郎に本を救ってくれと頼む。本を取り巻く現状について考える本。

本と鍵の季節

米澤穂信 著 集英社

学校図書館



「つまりですね。本棚に並んでいた順番に解読すると」
ここからが一番の綱渡りだ。下腹に力を入れる。

高二男子の堀川と松倉は不人気の図書室で当番をしている。そんな中なぜか「本」「鍵」に関する不思議な出来事に巻き込まれる。

何気ない会話から謎を解き、真相にたどり着く連作短編集。

校長先生に購入していただいた本(毎月一冊・司書のセレクト本を寄贈していただいています)



睡眠のひみつ 林悠 監修 メイツユニバーサルコンテンツ

二中で大切に考えていることの一つに『睡眠』があります。メジャーリガーとして活躍している大谷翔平選手のパワーの源も睡眠と言われています。疲労回復以外に『睡眠』にはどのような効果があるのでしょうか。